
日付: 2007-11-30 タイトル: 第9回研究セミナー 第3研究委員会

第3研究委員会 自己決定 ◆「支援の源泉を求めて」障害のある人の主体性をはぐくむ支援～行動障害への関係支援 <問題提起> 今、福祉は、支援の内容よりも経営が優先される時代になりました。研修会と言えば経営や管理の研修会で、支援は、訓練に就労。これでは具体的な支援に困る、という時代になっています。福祉現場で、子どもや障害者の「思い」を支援者、養育者がとらえられないということが起こっているように思われます。この現象の原因は、高度に情報化した社会の中で、個々人が「思い」を失っていかざるを得ないのではないのかということ、母親はむしろ情報過多により、惑わされ、実際の子どもの姿が見えないという面もあるのでは、「思い」から乖離し、「思い」を感じられなくなり、人と人が離れていくという状況から来るものでは、これは大変な状況と言えます。それでは、「思い」を支援者、養育者がどう取り戻したらよいのでしょうか。「子育て」や「支援」は、その人の「思い」が周囲に分かりにくい人に対して、支援者、養育者が「思い」を感じる自らの感覚に基づいた対応を行い、本人と支援者、養育者が視点の共有を図り、「思い」を共有し、それはとりもなおさず、人と人との関係の基盤づくりを行うことであると思われる。ところが、「思い」を見えにくくしてしまう同じ視点に立っていない何かしらの理由が周囲の側にあり、それは人が子を育てる際に頼りにする自らの感覚を見失う現象が起こるからではないのでしょうか。周囲に「思い」のわかりにくさから“発達障害”と診断された人は、「認知一言語」機能の障害と早期からレッテルが貼られ、行動特性に対して、一定の訓練や薬物療法を受け、本人の主体としての「思い」の問題、他者の「思い」との繋がり的问题としてはとらえられないことになりがちです。そこに問題はないのでしょうか。また、人が行動障害の原因を一生ずっと内面に抱えていることとはどういうことでしょうか。その結果として、外側からの統制的アプローチが行われること、恒久的な身体拘束、さらにパターンによる認知行動の統制が行われることや、薬物濫用による副作用としての自律神経機能の低下、早い高齢化、低体温症や嚥下障害などは生命にかかわる大変な状態が起こることもあります。行動障害が最も大変な状態ではなく、その先があるので。そこで、ひとつひとつの行動のその人にとっての意味を考え、受け容れる地道な人との応答が必要でないでしょうか。それは一見何の効果も無い、というよりもむしろそれにより問題が感じられる行動が出されことも予想され、そこでさらにその意味を受け止めて、応えていくという、長い「下ごしらえ」の支援の期間、人間関係の基盤づくりの支援です。そこに立ち会う私たち支援者はもう一度問題のそもそもの原点であると考えられる人との関係の成り立ち、不安、もつれ、自尊感情のあり方、人と人の主体たる意識のはたらきあい、安心感や好意の行き来する繋がり、関係性を見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。そしてこれは支援者の都合で人手、制度によって、あるいは政治によって変えられるものではなく、普遍的なものであると思います。今年度のサポート研第三研究委員会は、この様な状況を考えていくために「支援の源泉を求めて」障害のある人の主体性をはぐくむ支援～行動障害への関係支援、というテーマで行います。講師に鯨岡峻先生(中京大学心理学部)をお願いしました。また、今回は、現実の支援をとらえるために、行動障害の人への支援のケースカンファレンスを行います。松端克文先生(桃山学院大学社会学部社会福祉学科)にはケースカンファレンスのコーディネーターをお願いします。支援、人と人との関係性の根源に遡り、その困難な現れとしての行動障害の問題を個々の支援者自己自身と繋がった問題として確認出来る様な、有意義な議論が出来れば、と思います。<スケジュール>(午前中は第3研究委員会と合同開催となります。)
「支援の源泉を求めて」障害のある人の主体性をはぐくむ支援～行動障害への関係支援 午前(*第6研究委員会と合同で行いません) 9:30 開会 全体進行 荒木 大輔(こども発達支援室ウィズ・東京/当会理事)
問題提起 ①第3研究委員会から 金沢 信一(日の出福祉園・東京/当会副会長) ②第6研究委員会から 岩崎 隆彦(淡路こども園・大阪/当会理事) 10:15 講演「関係障害と関係発達支援～障害のある人の主体性をはぐくむ支援」講師 鯨岡 峻(中京大学心理学部教授) 12:00 昼食休憩 午後(*第3研究委員会のみで行います) 13:00「実例を踏まえた行動障害支援についての討議」コーディネーター 松端 克文(桃山学院大学社会学部准教授) 鯨岡 峻(前掲) 事例報告者 未定(報告を募集) 15:30 終了

Copyright © NPO法人全国障害者生活支援研究会 All Right Reserved